

## ■製品概要

種別	明るさ目安 (Hf蛍光灯)	セット品名	本体品名	吊具品名	仕様
直付形	2灯相当	MGLD3H291(TB)G/N-N8	MLD3H291(TB)G/N-N8	E1422G	防爆構造記号: Exd II B T6 X 定格電圧: 100V~242V 定格周波数: 50/60Hz共用 使用温度範囲: -20℃~40℃ 保護等級: 噴流形(IP65)
パイプ吊形		MPLD3H291(TB)G/N-N8		E2422P	
ブラケット形		MDLD3H291(TB)G/N-N8		E3522D	

●電気特性 (MLD3H291 (TB) G/N-N8)		
入力電圧	入力電流	入力電力
100V	0.43A	43.0W
200V	0.21A	41.5W
242V	0.18A	41.5W

■器具の配線工事は必ず工事店(有資格者)様へ依頼してください。資格のない人の配線工事は法律で禁止されています。

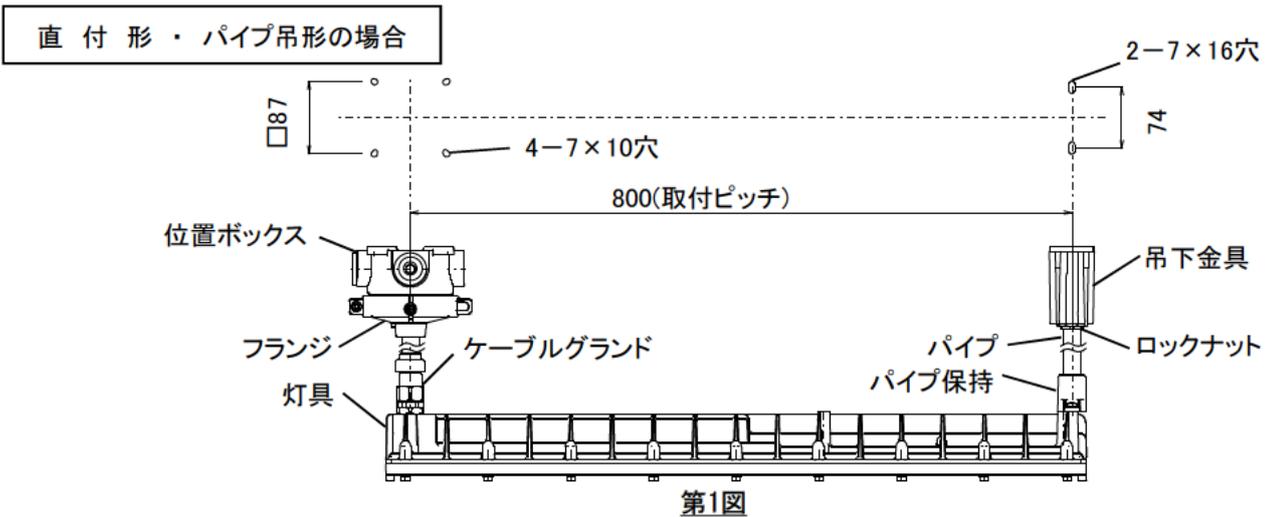
### 施工説明

施工者様へ、この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

### 施工者様への安全上のご注意

<p><b>警告</b> 製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度を示します</p>	
<p>●施工は取扱説明書に従って正しく行ってください。施工に不備があると、火災、感電、落下、爆発事故のおそれがあります。</p> <p>●電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合、火災、感電、爆発事故のおそれがあります。</p> <p>●この器具はZone1(第一類危険箇所)及びZone2(第二類危険箇所)専用器具です。使用環境を確認のうえ、ご使用ください。他の危険場所で使用すると、火災、爆発事故のおそれがあります。危険場所の確認は器具を設置する建物・場所などの所轄の消防署にご確認ください。</p> <p>●器具の取付けは器具質量に耐える場所に確実に取付けてください。施工に不備があると、火災、感電、落下、爆発事故のおそれがあります。</p> <p>●通電中は開かないでください。</p> <p>●周囲に爆発性ガス雰囲気が存在するおそれがあるときは開かないでください。</p>	<p>●器具を改造しないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。また、防爆性能が保持できなくなり、火災、爆発事故のおそれがあります。</p> <p>●ガラスなどの部品類が破損した場合は、そのままの状態で使用しないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。また、防爆性能が保持できなくなり、火災、爆発事故のおそれがあります。</p> <p>●振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、湿度85%を超える場所、可燃材が近接する場所、粉じんが多い場所では使用しないでください。火災、感電、落下、爆発事故のおそれがあります。塩害地域で使用する場合は、弊社までお問合せください。</p> <p>●接地工事は電気設備技術基準(D種接地工事)に従って確実に行ってください。接地が不完全な場合、耐雷サージ性能の低下及び、感電のおそれがあります。</p>
<p><b>注意</b> 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか又は物的損傷が想定される危害・損害の程度を示します</p>	
<p>●定格電圧(定格±6%以内)、使用地域の周波数は、器具取付けの際に必ず確認してください。誤って使用すると、火災、焼損、短寿命、爆発事故の原因となることがあります。</p> <p>●周囲温度が40℃を超える場所では使用しないでください。火災、感電、点灯不良、爆発事故の原因となることがあります。</p> <p>●雷サージが電源線や通信線、接地線を通して器具に加わると過電流により器具が破壊される恐れがあります。使用環境によっては、避雷器の設置などのサージ対策を行ってください。</p> <p>●器具を屋外又は、屋外に類する場所でご使用する場合は、電線管及び電線管付属部品のねじ部は雨水の浸入防止のための防水処理をしてください。防水処理が不完全な場合、絶縁不良の原因となることがあります。</p> <p>●口出線を持って器具を運ばないでください。口出線を持って器具を運ぶと、器具破損の原因となることがあります。</p>	<p>●照明器具の取付けは取扱説明書に従い、指定の取付方法・方向で確実に取付けてください。指定以外の取付けをすると、浸水による火災、感電、落下の原因となることがあります。また、防爆性能が保持できなくなり、火災、爆発事故のおそれがあります。</p> <p>●ガラスは取扱いにご注意ください。衝撃が加わると、破損の原因となることがあります。</p>

## ■器具の各部の名称 [ 図は一部を抽象化しています ]



## ■器具の取付方法(直付形・パイプ吊形)

直付形・パイプ吊形は水平な天井取付専用器具です。指定以外での取付けは行わないでください。

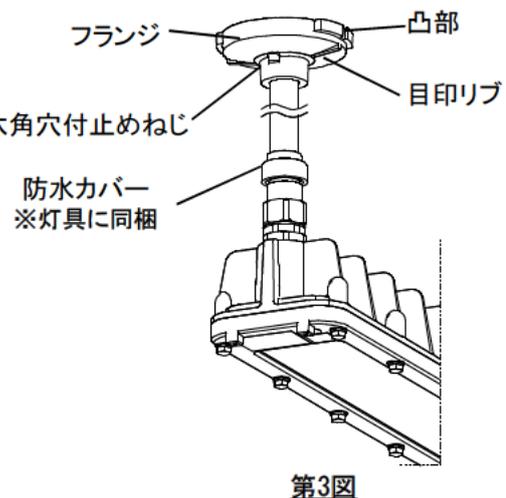
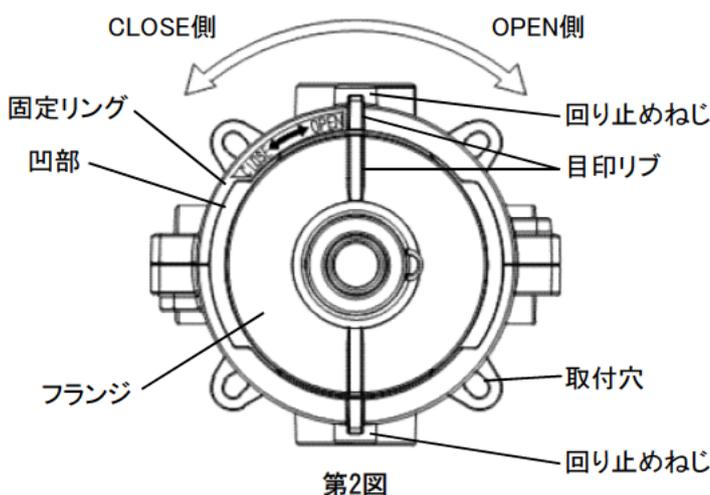
取付面は器具質量に十分耐えられる強度を確保してください。(第1図)

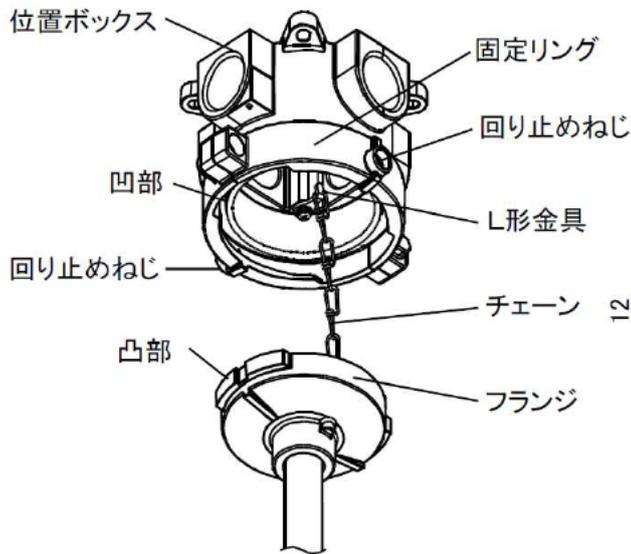
⚠ 不備がありますと器具落下によるけがの原因となることがあります。  
位置ボックス、保護管は防爆性能を有したものを使用してください。

- 1) 位置ボックスの回り止めねじ2か所を緩めてから、固定リングをOPEN側に90°回転させてフランジを外してください。(第2図)
  - 2) フランジにロックナットの付いていないパイプのねじ切り部分が長い方をねじ込んでください。
  - 3) 灯具から出ている口出線(ビニルキャブタイヤケーブル、電源:黒、白、アース:赤)を防水カバー、パイプの順に通してください。ケーブルグランドにパイプのねじ切り部分が短い方をねじ込んでください。ねじ込み後、防水カバーをケーブルグランドに被せてください。
  - 4) フランジの凸部の位置を器具側面にくるように調整した後、フランジの六角穴付止めねじを締付けてパイプを固定してください。(第3図)
- ※ 六角穴付止めねじは、六角レンチ(別途)を使用し、確実に取付けてください。  
不備がありますと、器具落下、火災、爆発事故の原因となります。
- 5) 口出線のない側のパイプ保持金具に、ロックナットの付いてるパイプのねじ切り部分が短い方をねじ込んでください。
  - 6) 位置ボックスと吊下金具を取付面にM6の六角ボルト(鋼製)若しくはこれと同等以上の強度を有するボルトを使用して取付けてください。(第1図)  
この際、吊下金具の切欠き部が位置ボックスの反対側に向くように吊下金具を取付けてください。(第5図)
  - 7) 器具を持ち上げ、フランジに付いているチェーンを位置ボックス内のL形金具に引掛けてください。(第4図)
  - 8) 吊下金具側のパイプに付いているロックナットの間隔を12mm以上開いた状態にしてください。(第5図)
  - 9) 吊下金具の切欠き部にロックナットで挟むようにして引掛けてください。(第5図)
  - 10) 位置ボックス内で灯具の口出線(ビニルキャブタイヤケーブル、電源:黒、白、アース:赤)と電源線を接続し、絶縁処理を施してください。

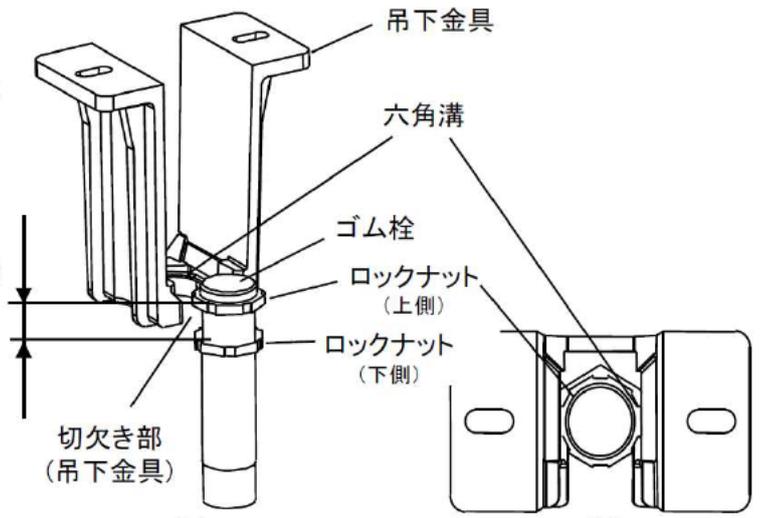
接続は必ず無電圧状態で行ってください。通電したまま接続を行いますと、感電のおそれやスパークして設置場所の雰囲気によってはガスなどに引火するおそれがあります。

⚠ 口出線と電源線は圧着端子を用いて確実に接続した後、絶縁テープなどを用いて十分に絶縁処理を施してください。アースは位置ボックスの接地端子に圧着端子を用いて接続してください。(D種接地工事)





第4図



(a)

第5図

(b)

11) 接続した口出線(ビニルキャブタイヤケーブル)を位置ボックスに収めた後、フランジの凸部の向きと固定リングの凹部の位置を固定リングを回転させて合わせてください。(第4図)

12) 器具を持ち上げ、固定リングにフランジを収納して、固定リングをCLOSE側に90°回転させてください。(第2図)

13) 固定リングとフランジの目印リブが一致していることを確認して、回り止めねじ2か所を締めてください。(第2図)

14) 吊下金具側の上側のロックナットを緩め、六角溝に落とし込み固定してください。(図5図b)

**必ずロックナットは六角溝に落とし込んでください。落とし込まれていないと、器具落下の原因となります。**

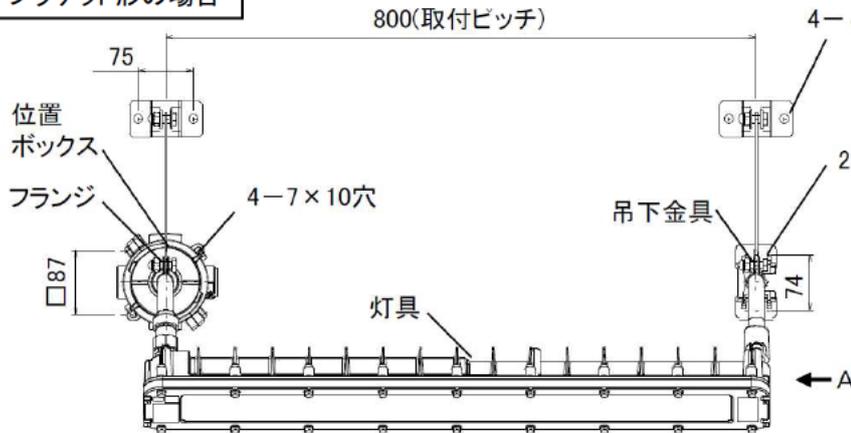
15) 下側のロックナットを工具を使用して締めてください。(第5図a)

※ 位置ボックスにケーブルを使用して引込む場合は、必ず指定のケーブルグランド(別途)を使用し工事を行ってください。

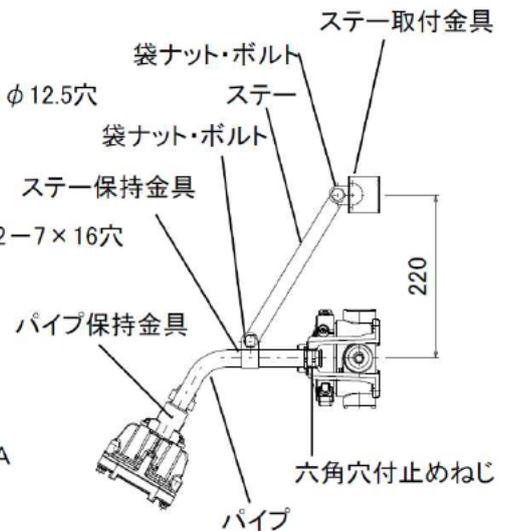
⚠ 器具を屋外又は、屋外に類する場所でご使用の場合は、ねじ部から雨水が侵入しないよう防水シールを施してください。

## ■器具の各部の名称 [図は一部を抽象化しています]

### ブラケット形の場合



第6図



第7図 (A矢視図)

## ■器具の取付方法(ブラケット形)

ブラケット形は鉛直な壁面取付専用器具です。指定以外での取付けは行わないでください。

⚠ 取付面は器具質量に十分耐えられる強度を確保してください。(第6図) 不備がありますと器具落下によるけがの原因となることがあります。位置ボックス、保護管は防爆性能を有するものを使用してください。

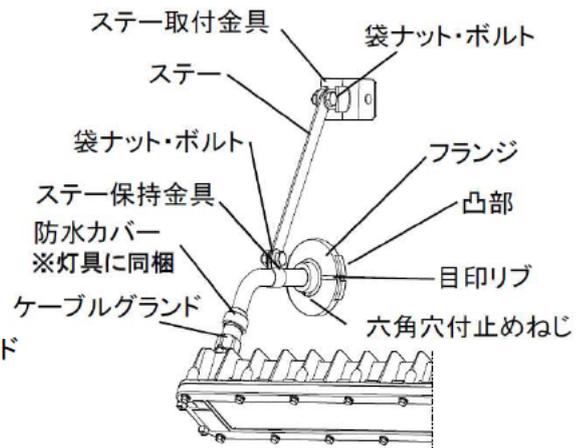
1) 位置ボックスの回り止めねじ2か所を緩めてから、固定リングをOPEN側に90°回転させてフランジを外してください。(第2図)

2) フランジにロックナットの付いていないパイプのねじ切り部分が長い方をねじ込んでください。

3) 灯具に同梱されている防水カバーを口出線側パイプのねじ切り部分が短い方に被せてください。

4) 灯具から出ている口出線(ビニルキャブタイヤケーブル、電源:黒、白、アース:赤)を防水カバー、パイプの順に通してください。ケーブルグランドにパイプのねじ切り部分が短い方をねじ込んでください。ねじ込み後、防水カバーをケーブルグランドに被せてください。第7図のようにパイプの位置を合わせてください。

5) 防水カバーをずらし、ケーブルグランドの先端に被せてください。(第8図)



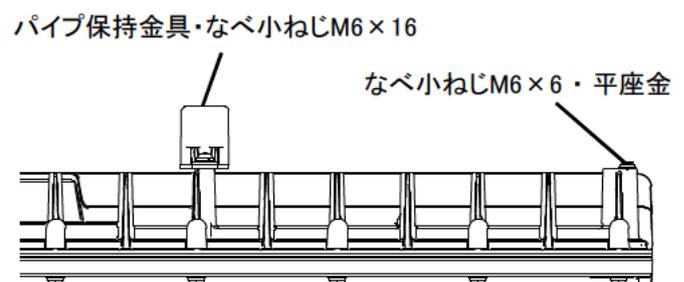
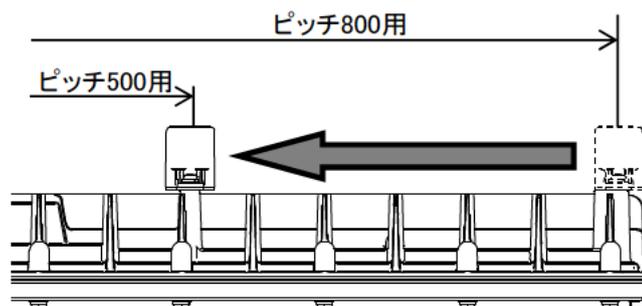
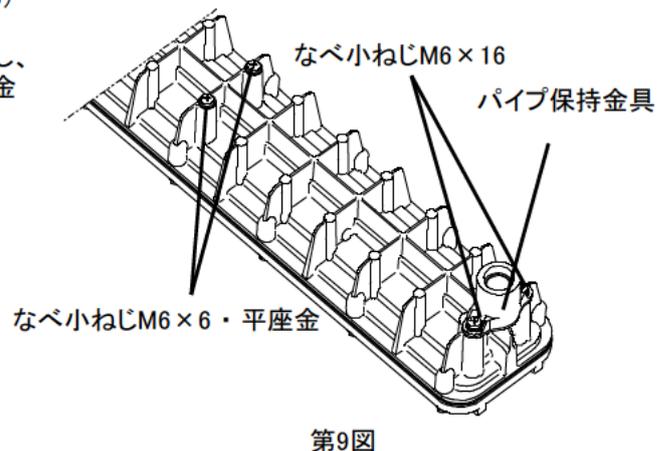
第8図

- 6) フランジの凸部の位置を横向きになるように調整した後、フランジの六角穴付止めねじを締付けてパイプを固定してください。(第8図)
- ※ 六角穴付止めねじは、六角レンチ(別途)を使用し、確実に取付けてください。  
不備がありますと、器具落下、火災、爆発事故の原因となります。
- 7) 口出線のない側のパイプ保持金具に、ロックナットの付いたパイプのねじ切り部分が短い方をねじ込んでください。  
第7図のようにパイプの向きを合わせてください。
- 8) 位置ボックスと吊下金具を取付面にM6の六角ボルト(鋼製)若しくはこれと同等以上の強度を有するボルトを使用して取付けてください。(第6図)  
この際、吊下金具の切欠き部が位置ボックスの反対側に向くように吊下金具を取付けてください。(第5図)
- 9) ステー取付金具をM8の六角ボルト(鋼製)若しくはこれと同程度の強度を有するボルトを使用して固定してください。
- 10) ステーとステー保持金具を袋ナット・ボルトを使用し、締めて固定してください。(第8図)
- 11) 器具を持ち上げ、フランジに付いているチェーンを位置ボックス内のL形金具に引掛けてください。(第4図)
- 12) 吊下金具側のパイプに付いているロックナットの間隔を12mm以上開いた状態にしてください。(第5図)
- 13) 吊下金具の切欠き部にロックナットで挟むようにして引掛けてください。(第5図)
- 14) 位置ボックス内で灯具の口出線(ビニルキャブタイヤケーブル、電源:黒、白、アース:赤)と電源線を接続し、絶縁処理を施してください。  
接続は必ず無電圧状態で行ってください。通電したまま接続を行いますと、感電のおそれやスパークして設置場所の雰囲気によってはガスなどに引火するおそれがあります。口出線と電源線は圧着端子を用いて確実に接続した後、絶縁テープなどを用いて十分に絶縁処理を施してください。アースは位置ボックスの接地端子に圧着端子を用いて接続してください。(D種接地工事)
- 15) 接続した口出線(ビニルキャブタイヤケーブル)を位置ボックスに収めた後、フランジの凸部の向きと固定リングの凹部の位置を固定リングを回転させて合わせてください。(第4図)
- 16) 器具を持ち上げ、固定リングにフランジを収納して、回転リングをCLOSE側に90°回転させてください。(第2図)
- 17) 固定リングとフランジの目印リブが一致していることを確認して、回り止めねじ2か所を締めてください。(第2図)
- 18) 吊下金具の壁側のロックナットを締めてから、反対側のロックナットを工具を使用して締めてください。(第5図)
- ※ 必ず壁側ロックナットは六角溝に落とし込んでください。落とし込まれていないと、器具落下の原因となります。
- 19) ステーとステー取付金具を付属の袋ナット・ボルトを使用し、締めて固定してください。(第7図)
- ※位置ボックスにケーブルを使用して引込む場合は、必ず指定のケーブルグランド(別途)を使用し工事を行ってください。
- ※位置ボックスハブ上側の電源の引込はできません(3方出)のご注意ください。
- 器具を屋外又は、屋外に類する場所でご使用する場合は、ねじ部から雨水が侵入しないよう防水シールを施してください。

## ■ 器具の各部の名称 [ 図は一部を抽象化しています ]

直付形・パイプ吊形・ブラケット形を取付ピッチ500で使用する場合

- 1) 取付ピッチ500用の位置に取付けてあるなべ小ねじ(M6×6)と平座金を外してください。(第9図)
- 2) パイプ保持金具を取付けているなべ小ねじ(M6×16)を外し、第10図に示すように取付ピッチ500用の位置にパイプ保持金具を取付けてください。  
この際、パイプ保持金具を取付けには、必ずM6×16のなべ小ねじを使用してください。M6×6のなべ小ねじでは取付できません。無理に取付けると、器具落下によるけがの原因となることがあります。
- 3) 1) で外したなべ小ねじ(M6×6)と平座金は、パイプ保持金具を外したピッチ800用の位置に取付けてください。(第11図)
- ▲ なべ小ねじ(M6×6)と平座金は器具の腐食防止のため必ず取付けてください。



**取扱説明**      **お客様へ、この取扱説明書は必ず保管してください。**

**お客様への安全上のご注意**      ご使用前に、この安全上のご注意を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

**警告**      製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度を示します

<ul style="list-style-type: none"> <li>●この器具は、Zone1(第一類危険箇所)及びZone2(第二類危険箇所)専用器具です。使用環境を確認のうえ、ご使用ください。他の危険場所で使用すると、火災、爆発事故のおそれがあります。危険場所の確認は、器具を設置する建物・場所などの所轄の消防署にご確認ください。</li> <li>●通電中は開かないでください。</li> <li>●周囲に爆発性ガス雰囲気が存在するおそれがあるときは開かないでください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●塩害地域でご使用の場合、定期的に点検を行い、必要に応じて器具外面に補修塗装を行ってください。そのままの状態でご使用になりますと、腐食が発生し、器具の落下のおそれがあります。また、防爆性能が保持できなくなり、火災、爆発事故のおそれがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●LED点灯中及び消灯直後の器具は高温になっていますので触らないでください。やけどのおそれがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガラスなどの部品類が破損した場合は、そのままの状態で使用しないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。また、防爆性能が保持できなくなり、火災、爆発事故のおそれがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具の改造、部品の交換はしないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。また、防爆性能が保持できなくなり、火災、爆発事故のおそれがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一、煙が出たり、異臭がするなど異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店又は工事店にご相談ください。異常のまま使用すると、火災、感電、爆発事故のおそれがあります。</li> </ul>

**注意**      製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか又は物的損傷が想定される危害・損害の程度を示します

<ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行ってください。感電、やけどの原因となることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガラスは取扱いにご注意ください。衝撃が加わると、破損の原因となることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全に使用するために、定期的に(3ヶ月に1回)自主点検を行ってください。</li> <li>●2年に1回は工事店などの防爆知識・技術を持った専門家による点検を行ってください。異常状態のまま使用すると、感電、落下、火災、爆発事故の原因となることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●照明器具には寿命があります。一般的な使用場所では、設置して8~10年経過すると外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。</li> <li>●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。</li> </ul>

**■使用上のご注意**

- LEDにはばらつきがあるため光色及び明るさが各LED素子ごとに異なる場合がありますが、ご了承願います。
- LEDは交換できません。

**■保証について**

- この照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。消耗品は対象外とさせていただきます。※保証の例外:24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理などの処置をさせていただきます。
- 修理に関する相談並びにご不明な点は、工事店または下記連絡先までお問合せください。

**■保守上のご注意**

- 器具の清掃時には安全上のご注意を再度ご確認ください。
- 器具の清掃(お手入れ)・・・汚れを落とす場合は、中性の石けん水を浸したやわらかい布をよくしぼって拭取り、石けんが器具に残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもの及び酸・アルカリ性の洗剤などで拭いたり、直接殺虫剤をかけたたりしないでください。変質による部品の破損や器具変色の原因となることがあります。
  - LED交換について・・・LED交換はできない構造です。定格寿命後は器具の交換を行ってください。
- お客様へ      保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守部品をお求めください。  
 ・・・      なお、安全のため保守作業は、工事店などの専門家にご依頼し実施ください。

**■保守のための記録**      工事完了後、今後の施設の安全維持のため「施工記録表」に記録のうえ、お客様にお渡しください。

施 工 記 録 表		
工事名:	取付年月:	使用電圧:
工事店名:	器具形式:	ブレーカ No.:
電話番号:	取付台数:	

<p><b>株式会社ホテルクス</b>                  東京都港区芝1-7-17                  〒105-0014    <a href="http://www.hotalux.com/">http://www.hotalux.com/</a></p>	<p>＜お客様相談室＞                  フリーダイヤル 0120-52-3205                  受付時間 平日9:00~12:00 13:00~17:30                  (土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)                  FAX. 0748-61-2330</p>
---	--